

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		したまち台東芸能文化連絡会				所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	51	計画事業名	芸能文化の保存と発信		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						[事業開始] 平成17年度		
		[小 柱] (1)文化の継承と発展						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ①地域文化の保存と継承								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 芸能文化関連団体 最終的な対象 : 一般区民及び来街者								
	事業目的	区内の芸能文化関連団体の連携強化を図り、共同PRを行うことで、大衆芸能の一大中心地である台東区の魅力を広く発信し、区の文化振興及び誘客の促進を図る。また、演劇・落語・漫才等の実演演芸を記録したDVDを制作し、大衆芸能の保存・啓発を図る。								
事業内容 [29年度]	区内の芸能文化関連団体を中心に「したまち台東芸能文化連絡会」を組織し、連携強化を図る。各団体の公演スケジュールを掲載するパンフレットを年2回作成し配布する。台東区にゆかりのある大衆芸能の実演家を記録したDVD「台東芸能文庫」を制作し、中央図書館での貸し出しや浅草文化観光センターでの放映を行う。演劇祭と相乗効果を図りながら、PRイベントを年1回浅草文化観光センターで開催することで、台東区の芸能文化を広く発信する。									
委託の有無	一部委託		委託内容	DVD出演委託、編集委託、デザイン・プレス委託、PRイベント公演委託、PRイベント設営等委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	DVD制作数		種類	1	2	2	2	2	100.0%
		パンフレット制作部数		数	30,000	30,000	31,000	30,000	-	-
	成果指標	DVD貸出件数		件	120	101	120	134	110	121.8%
		パンフレット配布先件数		件	93	78	89	92	-	-
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,853		2,082		2,171
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				4,411		6,242		5,028
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				1,840		2,070		2,146
		総経費				13		13		26
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源 (区負担額)				6,264		8,325		7,200	
前回評価から29年度に改善した事項	本区の魅力を広くPRするため、パンフレット及びPRイベントチラシの配布先を拡大した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	区内の芸能文化関連団体との連携を強化し、本区の大衆芸能の発信・保存・継承を図るという事業目的は公共性が高く、区が主体となって行う必要がある。							
	効率性	3	「台東芸能文庫」及び「PRイベント」の出演者は、連絡会加盟団体からの推薦者であるため、事業を円滑に遂行することができる。また、事業目的に賛同していただいたうえで出演依頼しているため、出演料コストを抑えることができている。							
	手段の適切性	4	「台東芸能文庫」制作における撮影・編集は基本的にCATVの番組制作の一環として制作しており、事業連携が図られた。							
目的達成度	4	「台東芸能文庫」の貸出件数は昨年度と比較し増加しており、目標値も達成していることから、台東区の大衆芸能の保存と発信につながっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
演劇、落語、漫才など芸能文化が集積している本区にとって、これらを保存、発信していくことは、本区の文化振興及び区民が芸能文化に触れる機会の創出に繋がる。一方で、本連絡会団体のPRについては、平成30年度より実施の「江戸まちたいとう芸楽祭」事業との連携を図り、より幅広い地域、年齢層に発信していくことが必要である。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		